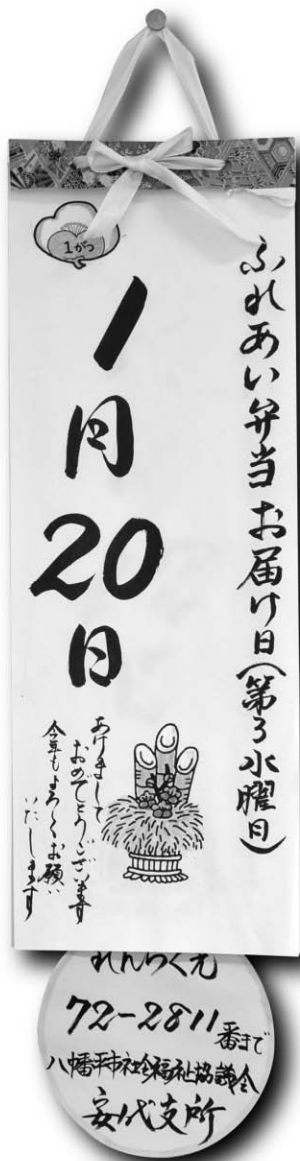


ふれあいがつなく 地域の“縁”



安代地区で毎月第3水曜日に行われている配食サービス事業(通称・ふれあい弁当)。小さな弁当を通じて、たくさんの人と人がつながる様子をカメラが追いました。



ハ

ツッピーバースデー・トゥー・ユー」。玄の元気な歌声と手拍子が響く。今日は第3水曜日の1月20日。安代地区で毎月行われている「ふれあい弁当」の日です。これは、平成5年4月から毎月第3水曜日に夕食の弁当を65歳以上のひとり暮らし世帯、80歳以上の夫婦のみ世帯に届けるものです。八幡平市社会福祉協議会が市の委託を受けて行っているもので、地域の住民や企業のボランティアによって支えられ、今日まで続いています。



調理は個人の登録ボランティアが交代で行い、地元企業が一品料理やフルーツを提供、配達は運転ボランティアと安代中、田山中の生徒たちが行います。また、弁当に添えるお便りや包装紙も、住民ボランティアが彩色。さらに、誕生月の世帯には、ボランティアが製作したパッチワークの小物と企業が提供した入浴券をプレゼント。さらに、配達した中学生たちが歌で誕生日をお祝いしています。

の、1月10日が誕生日の畠山貞子さんに弁当を届けた村上明佳さん(安代中2年)と羽沢大輝君(同校1年)は、この時期としては珍しい雨の降る中の配達です。大きな声で「こんにちは。ふれあい弁当です」と声を掛け、畠山さん宅を訪ね、村上さんが弁当の包みとプレゼントを、羽沢君が汁物のカップをそれぞれ畠山さんに手渡し、2人の元気な歌

毎

月一度きりの、小さな弁当ですが、多くの人や企業が関わり、地域に生きる人と人をつなぐ「縁」になっています。個人や企業がそれぞれの立場で自発的にボランティアとして関わりを持ち、左上の配達日を示すカレンダーを作るなど、地域に大きな広がりを見せています。

また、こうした活動は子どもたちにとり、福祉や社会について学ぶための、生きた機会にもなっています。子どもたちが地域に積極的に溶け込み、学ぶことはとても意義深いものです。1軒目の家では大きな声を出せなかった子どもが、2軒目の配達先では少し大きな声が出せるようになるなど、わずかの間にも成長が見られます。羽沢君は「初めてなので緊張しました。元気に声を出そうとがんばりました」と学んでいる様子でした。

今度が中学校に入って3回目のふれあい弁当配達でしたが、初めて誕生日のお祝いをする事ができました。歌うときや声を掛けるときは緊張したけれど、すごく喜んでくれて、うれしかったです。

村上明佳さん(安代中2年)





企業として地域への貢献、という
思いで続けています。中華の一品料
理を利用者の皆さんに楽しんでも
らいたいとともに、調理ボランティ
アの皆さんのお手伝いになれば、と
いう気持ちもありますね。

梅戸信生さん(ホテル安比グランド
中華部ディレクティブマネージャー)



企

業の協力も、ふれあ
い弁当を実施する
ためになくてはな
らないものの一つです。
地元への社会貢献活動の一
環として、ホテル安比グラン
ドでは毎月中華料理の一品を
無償で提供。新安比温泉静流
閣からはデザートとして
カットしたフルーツの提供に
加えて、誕生月の人のために、
1人当たり3枚の温泉入浴券
を無償でプレゼントしていま
す。

地域への貢献という側面も
ありますが、料理などを楽し
みにつけていく利用者の
皆さんのためという面がうか



調

がわれます。経済情勢が厳し
い折にもかかわらず、調理ボ
ランティアの皆さんの手間を
少しでも軽くしようという思
いやりの心が感じられます。
理には、荒沢地域、
田山地域それぞれ
の会場で月ごとに
違うメンバーのボランティア
が携わっています。
衛生面などでは保健所の指
導を受け、細心の注意を払い
ながらの調理。弁当の献立に
沿って、五目ご飯、簡単けんち
ん汁、赤魚の煮物、揚げ物、か
きあえ、漬物を手際よく作り、
弁当に詰めていきます。作り
ながらも「これってビールの



や包装紙にペンで色を付ける
人。誕生月の利用者に送るプ
レゼントとしてパッチワーク
の小物を作ってくれる人。配
達係の安代中、田山中の生徒
を送迎する運転手の人など、
実にたくさんの地域のボラン
ティアによって支えられて平
成5年から続けられてきまし
た。

生

16年もの長い間、地域の力
に支えられ、続けられてきた
この活動の原動力はどこにあ
るのでしょうか。

きがいであったり、
人とのふれあいで
あったり、この活動
に携わる人の思いはさまざま
ですが、共通している点が一
つあります。それは、無理をせ
ず、みんなが楽しんでいると
いうことです。楽しみながら
も利用者や参加者の声を聞き、
献立や体制などを工夫しなが
ら続けられてきました。

使命感でもなく、義務感で
もない。利用者とそれを支え
るボランティアが、ともに楽
しみながら行われているふれ
あい弁当。これからも、たくさ
んの人と人をつなげる「縁」で
あり続けます。

詳しくは、八幡平市社会福
祉協議会安代支所(☎72-12
811)まで。

平成5年に安代中学校の福祉担
当をしていて、この事業の立ち上げ
に携わりました。生徒たちに色々な
ことを学んでもらいたいと思いま
す。今は運転ボランティアとして、
安全を第一に気を付けています。

種市郁雄さん



料理がひと段落すると、ボ
ランティアみんなで休憩です。
それぞれが自分で作ったお菓
子や漬物などを持ち寄って、
楽しく交流しました。
参加した皆さんは「新しい
料理を覚えたり、人と交流で
きるのが楽しいし、生きがい
になっていきます」「楽しいだ
けでなく、人の役に立っている
のが良いよね」と笑顔を見せ
ました。

ふ

れあい弁当を支え
ている人は、これだ
けではありません。

毎月の弁当に添えられる手紙

パッチワーク小物の提供をはじ
めて、もう5年になります。趣味を
活かして、地域の皆さんに喜んで
もらえるのは何よりです。利用者の方
からお礼状をもらうこともあって、
励みになります。

小林和子さん



ボランティアみんなで休みをしながら楽しく交流

